

健康ウオッチング

東陽病院 院長 伊藤 文憲

胸痛について

横芝町の皆さん今日は。2回にわたり心臓の病気についてお話ししました。少々難しい話だったかもしれませんが。そこで今回は病気の初めである胸痛の痛みについてお話しします。胸痛の痛みにも色々あります。部位は前、後(背中)、左右、首に近い上やお腹に近い下などに分けられます。痛みの強度や持続時間によっても分けられます。

痛みや発熱などは、医療の世界では臨床症状といえます。これらの症状や診察などにより病気の正体を見破らなければなりません。しかも間違わないで、且つ早くというのが本来の仕事です。医療機関に受診した場合には、直ちに問診という病気の始まりからその後の経過について詳しく聞かれます。続いて診察を受け、さらには必要な検査がなされて、診断が確定します。それから治療が行われます。

す。軽症では薬が投与されて、症状が無くなれば治癒です。しかし慢性的な疾患では継続した薬物の内服が必要となり、通院が必要となります。症状が強い場合には入院治療が必要です。診断が困難な場合には、精密検査の可能な他の医療機関への紹介がなされます。

さて普段は健康な人に「突然起こる胸痛」は心臓が原因の場合と、肺臓が原因の二つに分けられます。心臓の症状は以前にお話ししました。肺については後日予定します。一番大切なことは症状が出たときに様子を見て良いか、直ちに受診が必要かの判断です。症状は自宅や勤務先または通勤の時に起こります。自己の判断が必要です。胸痛の場合に呼吸困難が伴う場合には、直ちに受診する必要があります。咳や喀痰の排出や発熱などの呼吸器症状があれば肺の疾患が考えられます。医療機関を受診して必

要なら胸の写真をとり、投薬を受けましょう。自然気胸、急性肺炎、胸膜炎、慢性呼吸不全の増悪、肺梗塞などでは入院治療が必要です。

心臓の場合には重症の不整脈(頻脈発作)、狭心症、心筋梗塞や解離性大動脈瘤などです。始めての不整脈発作は直ちに受診が望まれます。しかし、前々回に述べたようにいきなり狭心症や心筋梗塞が発病することは稀です。必ず高血圧や高脂血症などが前提で起こる疾患ですから毎年の健康診断を受けていれば心配いりません。

一方胸は痛みがそれほど苦しくない場合は次の疾患が考えられます。風邪や気管支炎の場合の強い咳などによる筋肉痛あるいは肋間神経痛による疼痛です。

注意すべき事は高齢者の場合には、発熱や咳などの症状が無くても、何となく元気がなくて胸が苦しいなどという場合に、検査の結果で肺炎を起こしていることがあります。お年寄りが、いつもと違う場合には早めに受診することが大切です。

●総合相談日
4月13日(水) 9~12時
※東陽病院 ☎84-1335

東陽病院科別外来日程表

平成17年4月1日現在

診療科	午 前 の 部							午 後 の 部			
	受付 8:15~11:30 (土曜日は11:00まで)							受付 13:00~15:00			
	診察開始 9:00~							診察開始 13:30~			
曜日	内科	外科	整形外科	婦人科	泌尿器科	脳神経外科	外科 乳腺・甲状腺	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	
月	呼吸器 河野	(院長) 伊藤	土岐	田内	伊地知				千葉大	武宮	
火	森居	鈴木	前田	田内	伊地知	佐藤	大屋				
水	高橋	(院長) 伊藤	田辺	田内	伊地知		田辺 前		千葉大	武宮	
木	循環器 伊藤	(院長) 伊藤	前田	田内				千葉大			
金	森居	鈴木	佐野	田内	伊地知				千葉大	武宮	
土	高橋		交替制		伊地知						

※第2・第4土曜日は休診です。
※泌尿器科・皮膚科の診療日が変更になりました。

住所 匝瑳郡光町宮川12,100
電話 0479 (84) 1335
URL: www4.ocn.ne.jp/toyohp/

医師の異動

・内科 高橋 正憲 (千葉県立佐原病院から)
・外科 土岐 朋子 (千葉県がんセンターから)
・内科 米満 裕 (千葉大学医学部大学院へ)
・外科 吉田 行男 (国立病院機構千葉医療センターへ)